

令和6年12月

各 位

一般社団法人 農業開発研修センター
会 長 理 事 増 田 佳 昭
[公 印 省 略]

令和6年度 JAの営農事業改革に関する研究会の開催について

拝 啓 時下、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

この度、標記の研究会を別紙要領のとおり、開催します。当センターでは、地域農業の振興・活性化とJAの改革に貢献することを目的として、各種の研究会（研修会）を毎年開催しており、全国各地から多数の方々にご参集いただいております。

今年度の標記研究会は、食料問題などわが国農業をめぐる情勢と今後のあり方を確認するとともに、第30回JA全国大会決議にある「食料・農業戦略」の着実な推進と部門収支の改善を含む営農事業改革のあり方について、徹底討論することをねらいに企画・開催します。

本研究会では、参加者間の交流を深めるために、今年度から対面方式による開催とし、併せて、参加者相互や講師との交流の場である懇談会も開催を予定しています。

つきましては、貴団体・機関の関係者のご参加におきまして、格別のご配慮を賜りたく、何卒よろしくご願ひ申し上げます。特にJAにおける営農企画担当役職員の方々の積極的なご参加をお待ちしております。

なお、ご希望があれば本要領とは別にメールでもご案内いたしますので、申し添えます。

敬 具

令和6年度

J Aの営農事業改革に関する研究会開催要領

主催：一般社団法人農業開発研修センター

《趣 旨》

わが国農業・農政にかかる情勢をみると、依然続く世界的な物価高騰による生産資材価格の高止まりをはじめ、農家組合員の高齢化や組合員総数の減少や離農による後継者問題など、農業生産構造の弱体化に歯止めがかからない状況となっています。一方、食料・農業・農村基本法が四半世紀ぶりに改正され、その中でJ Aグループが食料・農業・農村のそれぞれで重要な役割を果たしていると明記されるなど、改めてJ Aの存在意義が評価されることとなりました。

今年度の標記研究会では、第30回J A全国大会決議にある「食料・農業戦略」の着実な推進と営農事業の収支改善を含む営農事業改革のあり方について研究します。

期 間：令和7年2月6日（木）～7日（金）

会 場：京都J Aビル 201・202会議室（アクセス参照）

対 象：①単位J Aの役職員（営農経済担当役員、本店営農経済担当部長、営農経済センター長等）
②J A全農全国本部・都道府県本部、都道府県農協中央会・連合会の役職員 等
③その他、関連する農業団体・行政機関などの役職員 等

定 員：50名程度

昼 食：

7日（金）に弁当（1,188円（税込））を準備します。ご希望の方は、参加申込書からお申し込みください。

参加費：（税込・一人当たり）

会 員 <>内は、2名以上をまとめて申し込んだ場合の金額です。	40,700円<36,300円>
非 会 員 <>内は、2名以上をまとめて申し込んだ場合の金額です。	51,700円<46,200円>
会友（個人会員）に新規加入の場合 （令和7・8年度の会友会費10,000円を含む）	45,700円

注1：会員は、会員所属者および令和5年度以前からの会友（個人会員）の金額です。

注2：令和5年度以前からの会友（個人会員）の部分受講は、別途割引があります。

※年間予約コースについては別紙をご参照ください。詳しくはメールまたは電話でお問い合わせください。

懇談会：

参加者と講師の交流の場とした懇談会を予定しています。ご希望を申込書へご記入ください。

＜開催予定日時＞

と き：2月6日（木） 17：30～（90分程度）

と ころ：ホテルエルシエント京都八条口

懇談会費：6,500円（消費税込）

申込方法：

①5ページの参加申込書をファックスで送信してください。

②受付完了通知をメールで送信しますので、

参加費（昼食代・懇談会費）を送金してください。なお、振込手数料はご負担ください。

＜振込先＞

京都府信用農業協同組合連合会（京都信連）

本 店 当座 口座番号：6373291

京都銀行 京都駅前支店 普通 口座番号：3164073

口座名義：一般社団法人農業開発研修センター
（シャ） ノウギョウカイハツケンシユウセンター

申込締切日：1月30日（木）17：00

当開催要領は、ホームページ（<https://agridtc.or.jp/nittei.html>）に掲載しています。

キャンセルポリシー：

お申し込み後のキャンセルはキャンセル料が発生しますのでご注意ください。

・1月30日（木） 17：00まで …… 10,000円

・1月30日（木） 17：00以降 …… 全額

問い合わせ（申し込み）先：

一般社団法人農業開発研修センター 研究会受付係

〒601-8585 京都市南区東九条西山王町1（京都JAビル）

TEL：075-748-0703

FAX：075-748-0855

E-mail：seminar@agridtc.or.jp

URL：https://agridtc.or.jp

アクセス：JR京都駅（八条口）より徒歩5分



（QRコードもご参照ください）



日 程

《第1日目》 2月 6日 (木)

13:30～13:50 開会あいさつ・オリエンテーション

一般社団法人農業開発研修センター 会長理事 増田 佳昭

13:50～15:10 報告Ⅰ わが国農業・農政の情勢と求められる食料・農業政策のあり方

(うち質疑応答約10分)

近畿大学名誉教授 池上 甲一 氏

○専門は農業経済学・環境政策学。著書に『小農経済が変える食と農 労働と生命の再生産』(監訳)(明石書店)、『ほんとうのグローバリゼーションってなに? (1) 地球の未来への羅針盤』(農山漁村文化協会)、『食の共同体』(ナカニシヤ出版)など多数執筆

○不測時の食料供給確保のために6月14日に成立した「食料供給困難事態対策法」の概要と抱える問題点・課題は何か

○世界規模での食料需給の逼迫や貿易の不安定化が叫ばれているなかで最優先されるべき課題は何か

ーわが国の食料生産の維持・増強をめざした農業・食料政策の提案ー

15:10～15:30 休 憩

15:30～16:40 報告Ⅱ わがJAの営農・経済事業の成長・効率化プログラムの実践

(うち質疑応答約10分)

滋賀県 レーク伊吹農業協同組合

常務理事 伏木 衛 氏

○平成10年に誕生した2市(一部を除く)を区域とするJA。組合員総数12,135名(うち正組合員4,560名)、貯金残高1,432億円、貸出金残高191億円、長期共済保有高2,638億円、販売品販売高11億円、購買品供給高8億円(令和5年度実績)

○営農指導体制の再構築や支店経済渉外体制等の再構築、カントリーエレベーターの機能集約等による収支改善の強化などの実践

○わがJAがめざすこれからの営農事業の展開方向と課題

17:30～19:00 懇談会(ホテルエルシエント京都八条口)

《第2日目》 2月 7日 (金)

シンポジウム「徹底討論 JAの営農事業改革にどう取り組むか」

9:30～ 9:50 座長解題

一般社団法人長野県農協地域開発機構研究所長 小松 泰信 氏
岡山大学名誉教授

<座長解題>

○シンポジウムで議論したい論点と参加者に期待したいこと

○2つの実践報告の関連と意味

9:50～10:50 **実践報告① J A 常総ひかりの営農事業改革の実践**

— 営農部門黒字化への取り組み —

茨城県 常総ひかり農業協同組合

代表理事専務 倉 金 一 廣 氏

- 平成6年に誕生した2市1町を区域とするJ A。組合員総数15,608名（うち正組合員9,910名）、貯金残高1,645億円、貸出金残高253億円、長期共済保有高4,046億円、販売品販売高137億円、購買品供給高53億円（令和5年度実績）
- 園芸販売品目における販売手数料の見直し・実践など赤字部門の解消・黒字化に向けた取り組みの展開
- 予冷施設付きの集出荷場の新設や梨、メロン等の輸出強化による販路拡大、「J A 出資型農業生産法人（株）ひかりファーム常総」による地域農業振興への貢献、直売所の移動販売など営農事業改革の実践

10:50～11:00 休 憩

11:00～12:00 **実践報告② J A 中野市の営農事業改革の実践**

— 高付加価値農業の推進と営農事業改革 —

長野県 中野市農業協同組合

常務理事 佐々木 真 氏

- 昭和39年に誕生した中野市（一部除く）を管内とするJ A。組合員数7,748人（うち正組合員3,773人）、貯金残高959億円、貸付金残高300億円、長期共済保有高2,730億円、販売品販売高298億円、購買品供給高76億円（令和5年度実績）
- 主力品目のきのこ園芸特別対策事業・果樹品目品質向上対策事業等による園芸品目を柱とする高付加価値農業の推進・展開
- 生産基盤強化、販売量拡大、人員配置の見直しなど事業推進機構の再構築による営農事業の収支改善に向けた営農経済事業改革の取り組み

12:00～13:00 昼 食

13:00～14:10 討 論

(座 長) 前 掲 小松 泰信 氏
(コメンテーター) 滋賀県 滋賀蒲生町農業協同組合 常勤監事 田村 彰 氏
摂南大学 農学部 准教授 川崎 訓昭 氏

14:10～14:30 休 憩

14:30～15:50 **特別講演 わが国の米をめぐる情勢変化と今後の相場の動向**

(うち質疑応答約10分)

元『米穀新聞』記者 熊 野 孝 文 氏

- 米関連の取材記者として約40年の経験を活かし、JAcomで「米マーケット情報」を連載。その他にはWedgeオンラインをはじめ『農業経営者』にて情報を発信。著書に「ブランド米開発競争-美味しいコメ作りの舞台裏」（中央公論新社）
- 「令和の米騒動」が発生した背景と国産米をめぐる情勢変化および今後の見通し
- 今後の米価格はどうなるのかー「令和の米騒動」は一過性なのかー

15:50～16:00 **閉会あいさつ** 一般社団法人農業開発研修センター 常務理事 瀬津 孝

(京都大学農学部非常勤講師)

注) 講師の都合等により、報告時間等が変更になる場合があります。予めご了承ください。

農業開発研修センター 行き
〈FAX : 075-748-0855〉

令和6年度 JAの営農事業改革に関する研究会参加申込書

〒 TEL FAX

ご住所:

貴機関名:

ご記入者(部課名) ^{ふりがな}(お名前)

部課・役職名	^{ふりがな} 参加者氏名	会友同時加入 (希望者は○)	昼食(弁当) (希望者は○)	懇談会 (希望者は○)
〈記入例〉 営農・企画課長	^{けんしゅう たろう} 研修太郎	○	○	○

※受付完了通知と請求書をメールで送りますのでメールアドレスは必ずご記入いただきますようお願いいたします。

@

〈送金状況〉

1. 振込(予定)先 …… イ. 京都信連 ロ. 京都銀行 (該当する記号に○印をつけてください)
2. 振込(予定)日 …… 月 日

注1) 必要事項をご記入のうえ、ファックスで送信してください。
《申し込み順に受け付けます。定員に達した時点で締め切り、受付できなかった方には連絡します。》
2) ご記入いただいた情報は、研究会の受付事務、参加者に配布する名簿作成、以後の研究会の案内のために使用し、それ以外の目的で使用することはありません。

『参考』

令和6年度農業開発研修センター研究会開催予定一覧

7月

農協問題総合研究会(通算第53回)

【時期・期間】7/17(水)~19(金) 3日間 【開催地】京都(対面開催)
【推奨する参加者】トップ層(組合長・理事長、専務など)、企画担当幹部職員(JA、連合会、中央会)
【通常参加費】会員・会友:59,400円 非会員:89,100円

J A関係者の意識改革と資質の向上を狙いとするとともに、今後のJ A運動の展開方向と展開条件を総合的に解明するため、先進J Aや専門研究者等からの報告とシンポジウムを実施する。

8月

地域農業振興に関する研究会(通算第48回)

【時期・期間】8/8(木)~9(金) 2日間 【開催地】京都(対面開催)
【推奨する参加者】トップ層(営農担当役員など)、営農経済担当幹部職員(JA、連合会、中央会)
【通常参加費】会員・会友:29,700円 非会員:44,000円

地域農業振興計画立案・推進関係者の資質の向上を狙いとするとともに、地域農業振興・活性化の課題と対応方向を解明するため、先進事例や専門研究者等からの報告とシンポジウムを実施する。

9月

農産物流通研究会(通算第55回)

【時期・期間】9/12(木)~13(金) 2日間 【開催地】京都(対面開催)
【推奨する参加者】トップ層(営農担当役員など)、営農経済担当幹部職員(JA、連合会、中央会)
【参加費】会員・会友:40,700円 非会員:51,700円

農産物流通に関わる関係者の資質向上と課題解決力の強化に資するため、先進産地や流通業界の専門家等からの多彩な報告とシンポジウムを実施する。

10月

J A 共済総合研究会(通算第31回)

【時期・期間】10/23(水)~25(金) 3日間 【開催地】京都(対面開催)
【推奨する参加者】トップ層(共済担当役員など)、共済担当幹部職員(JA、連合会、中央会)
【通常参加費】会員・会友:59,400円 非会員:89,100円

J A運動とJ A経営の双方の視点からJ A共済の今日的課題を解明するとともに、今後の事業戦略確立の方向性を探るため、先進J Aや専門研究者等からの報告とシンポジウムを実施する。

11月

J Aの組織基盤強化に関する特別研究会

【時期・期間】11/14(木)~15(金) 2日間 【開催地】京都(対面開催)
【推奨する参加者】トップ層、幹部職員(JA、連合会、中央会)
【通常参加費】会員・会友:40,700円 非会員:51,700円

当年度の時宜に適った企画テーマを設定し、そのテーマに特化した企画内容に力点を置き、実践報告や専門研究者等からの報告とシンポジウムを実施する。

1月

J A 金融問題研究会(通算第43回)

【時期・期間】1/16(木)~17(金) 2日間 【開催地】京都(対面開催)
【推奨する参加者】トップ層(信用担当役員など)、信用担当幹部職員(JA、連合会、中央会)
【通常参加費】会員・会友:40,700円 非会員:51,700円

J A金融関係者の資質の向上を狙いとするとともにJ A金融をめぐる構造的諸問題を解明するため、事例報告や専門研究者等からの報告とシンポジウムを実施する。

2月

J Aの営農事業改革に関する研究会(通算第3回)

【時期・期間】2/6(木)~7(金) 2日間 【開催地】京都(対面開催)
【推奨する参加者】トップ層(営農担当役員など)、営農経済担当幹部職員(JA、連合会、中央会)
【通常参加費】会員・会友:40,700円 非会員:51,700円

地域農業振興・活性化の課題(地域農業振興計画の策定・実践を含む)の解明とJ Aの営農経済事業の改革方向を探るため、先進事例や専門研究者等からの報告とシンポジウムを実施する。

【連絡先】〒601-8585

京都市南区東九条西山王町1 京都J Aビル内
一般社団法人農業開発研修センター

T E L : 075-748-0703 F A X : 075-748-0855

Mail : info@agridtc.or.jp

U R L : https://agridtc.or.jp/

農業開発研修センター研究会年間予約 新コースのご案内

(一社)農業開発研修センターが令和6年度より実施した研究会年間予約コースに、令和7年度より新たに2つのコースを設定しました。各コースの特徴は、年間7回すべてのコースと、信用事業・共済事業を取り上げた金融・共済事業に特化したコース、そして営農事業に特化したコースとなっています。各部門の常勤役員、部課長が、連合会の事業研修にとどまらない幅広い視点から各事業を学ぶ機会として有益なものと考えていますので、是非ともご活用ください

I 年間7回のフルコース（2名コース38万円、1名コース25万円）

当センターの年間7回の研究会に1名、ないし2名参加のコースです。JAにかかわる諸問題を幅広く学ぶことができます。出席者の交替も自由なので、とりまとめ部署で、関係役職員の受講を計画的に実施することができます。

- 農協問題総合研究会（7月開催）
- 地域農業振興に関する研究会（8月開催）
- 農産物流通研究会（9月開催）
- JA共済総合研究会（10月開催）
- 特別研究会（11月開催）
- JAの営農事業改革に関する研究会（1月開催）
- JA金融問題研究会（2月開催）

II 金融・共済コース（1名コース15.4万円）

JAの当面する課題について包括的に学ぶ農協問題総合研究会と、金融、共済の各研究会、それに特別研究会を加えた4回のコースです。金融担当常勤役員、金融関係部課長、幹部候補職員などの受講を想定しています。

- 農協問題総合研究会（7月開催）
- JA共済総合研究会（10月開催）
- 特別研究会（11月開催）
- JA金融問題研究会（2月開催）

III 営農経済コース（1名コース14.3万円）

JAの当面する課題について包括的に学ぶ農協問題総合研究会と、地域農業振興、農産物流通、営農事業改革の4回のコースです。営農経済担当常勤役員、営農関係部課長、幹部候補職員などの受講を想定しています。

- 農協問題総合研究会（7月開催）
- 地域農業振興に関する研究会（8月開催）
- 農産物流通研究会（9月開催）
- JAの営農事業改革に関する研究会（1月開催）

令和7年度の研究会開催スケジュールは、令和7年1月以降に決定します。
詳細は裏面に掲載しております連絡先までお問い合わせください。